

日本全国パルクール調査 2017

結果報告書

平成 30 年 3 月

一般社団法人日本パルクール協会



## <目次>

1. 調査目的.....	3
2. 調査概要.....	3
3. 調査結果.....	4
1) 基礎項目 .....	4
Q1. 性別.....	4
Q2. 年齢.....	4
Q3. 居住地 .....	5
Q4. 職業.....	6
2) パルクールに関する回答者の属性.....	6
Q5. パルクール歴.....	6
Q6. パルクールに関する社会的な立ち位置.....	6
Q7. パルクールの頻度.....	7
Q8. パルクールを知ったきっかけ .....	7
Q9. パルクールを始めた理由 .....	7
Q10. パルクールをする状況.....	8
Q11. パルクールをする場所.....	8
Q12. パルクールの練習場所を見つけた方法.....	8
Q13. パルクール関連団体・組織・企業等の所属の有無 .....	9
Q14. 所属するパークール関連団体・組織・企業等の名称.....	9
3) パルクールに関する世論調査 .....	10
Q15. パルクールの競技化に関する賛否.....	10
Q16. パルクールの競技化に関する賛否の理由（自由記述） .....	10
Q17. パルクールの関連競技（スピードラン形式）の大会に参加したいかどうか .....	18
Q18. パルクールの関連競技（フリースタイル形式）の大会に参加したいかどうか.....	18
4) パルクールをする上での回答者の課題.....	19
Q19. パルクールをする上で課題に感じていること .....	19

## 1. 調査目的

日本におけるパルクールの人口、活動分布、練習実態、世論といったパルクールの実施状況を調査し、今後のパルクールの普及と発展に必要な情報を一般公開することを目的に、アンケート調査を実施した。なお、本調査は2014年に実施した第1回日本全国パルクールに続く調査である。

## 2. 調査概要

### 1) 調査対象

日本のパルクール実践者およびパルクール関係者全て

### 2) 調査方法

アンケートサービス「Google フォーム」を利用し、作成したアンケートページの URL を Facebook、Twitter、パルクール関係者のウェブページ上に掲載し、調査協力を各ウェブページ上にて依頼した。なお、本調査では日本の英語話者の回答者向けに、英語での調査を合わせて実施した。

### 3) 調査期間

2017年9月20日～10月20日

### 4) 調査項目

#### 1) 基礎項目

性別、年齢、居住地、職業

#### 2) パルクールに関する回答者の属性

パルクール歴、パルクールに関する社会的な立ち位置、パルクールの頻度、パルクールを知ったきっかけ、パルクールを始めた理由、パルクールをする状況、パルクールをする場所、パルクールの練習場所を見つけた方法、パルクール関連団体・組織・企業等の所属の有無と名称

#### 3) パルクールに関する世論調査

パルクールの競技化に関する賛否、パルクールの関連競技（スピードラン形式）の大会に参加したいかどうか、パルクールの関連競技（フリースタイル形式）の大会に参加したいかどうか  
回答は基本的に選択肢としたが、競技化に関する賛否の理由には自由記述欄を設けた。

#### 4) パルクールをする上での回答者の課題

### 5) 回答者数

2017年10月20日までの回答分を有効回答として分析した。また、項目によっては「無回答」を除いて分析した。各項目における有効回答数を図中に  $n$  で示す。回収数は272であった。

### 6) 集計方法

#### (ア) 集計単位

基本的には、回答者総数又は各属性の回答者に占める構成比率を、少数点第2位を四捨五入した少数点第1位までの百分率で表示している。このため、各項目の比率を合計した値が100%

にならない場合がある。

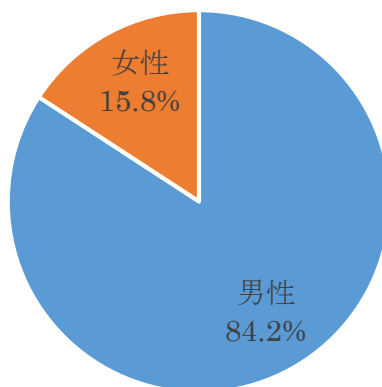
(イ) 自由意見欄

Q 15 で意見を自由に記入してもらっている部分は、明らかな誤字、脱字を除き、原則的には記入された内容をそのまま掲載している。漢字、ひらがな、カタカナの標記も原文そのままとし、内容に回答者及びその他の個人が特定できる部分、表現が不適切なものがあつた場合はその部分を削除して掲載している。また、類似する回答が複数見られた場合は、1つを掲載し残りの回答を省略した。

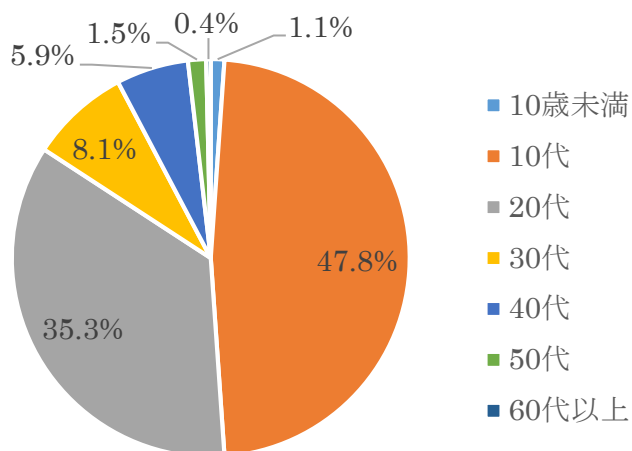
### 3. 調査結果

#### 1) 基礎項目

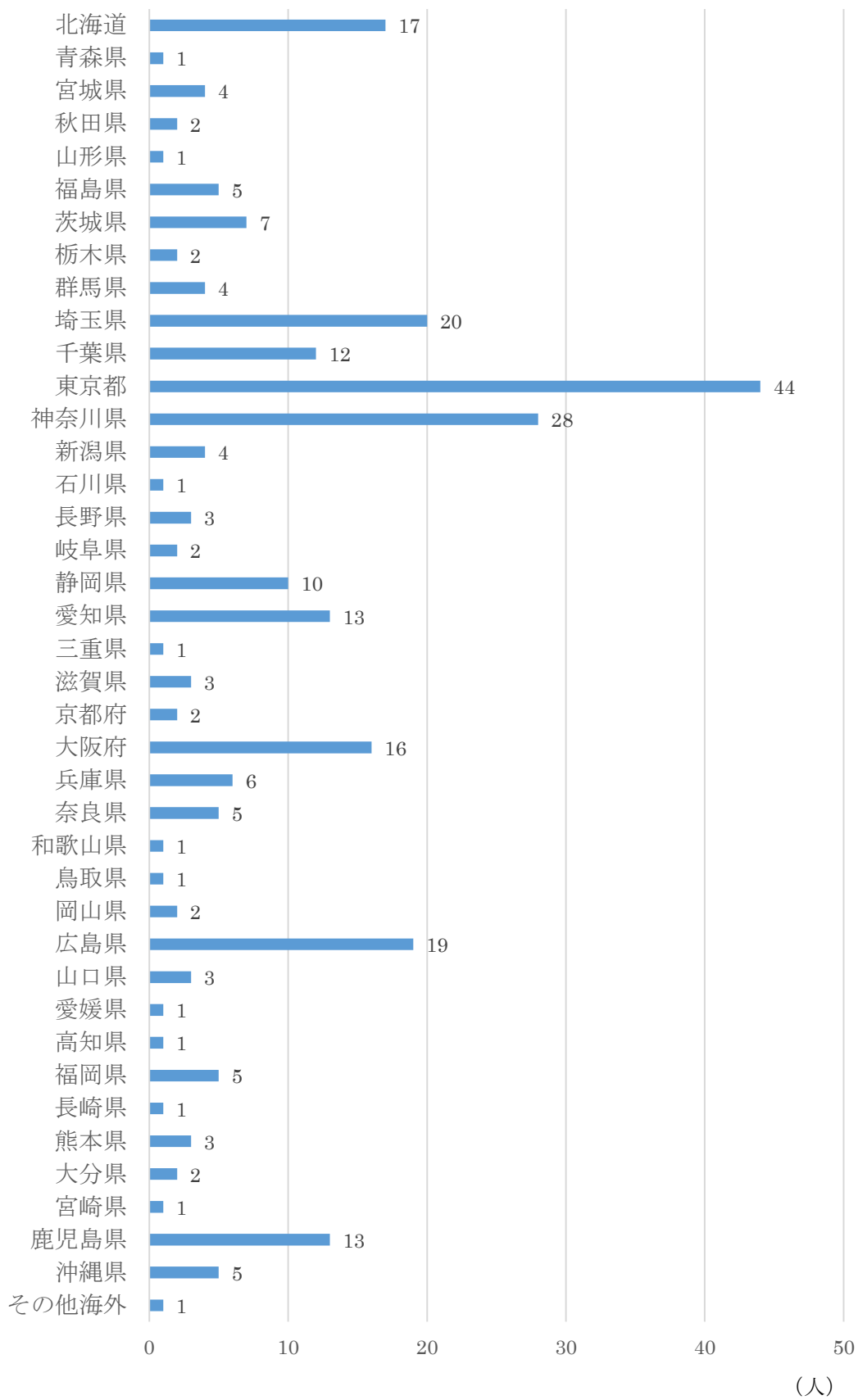
Q1. あなたの性別をお選びください。(n=272)



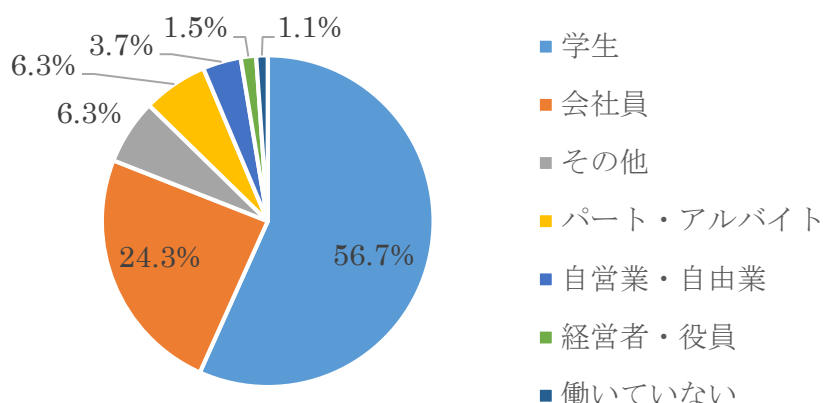
Q2. あなたの年代をお選びください。(n=272)



Q3. あなたがお住まいの都道府県をお選びください。(n=272)

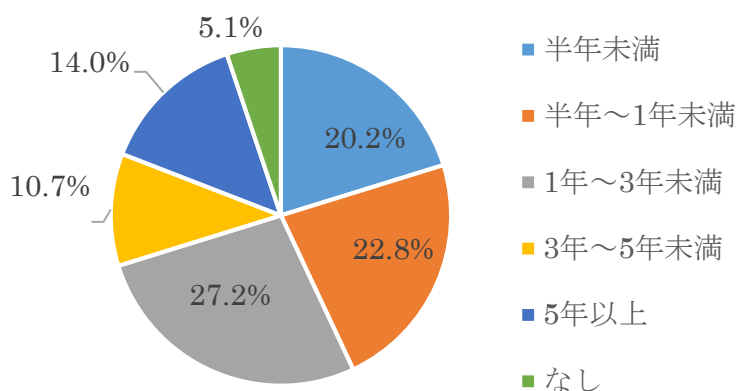


Q4. あなたの職業をお選びください。(n=272)

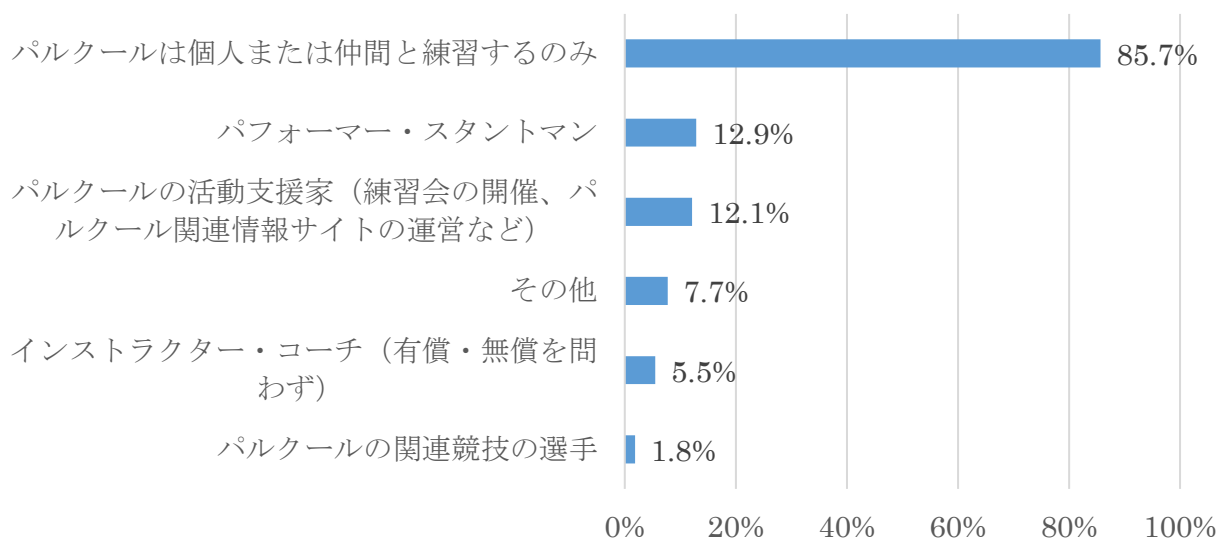


## 2) パルクールに関する回答者の属性

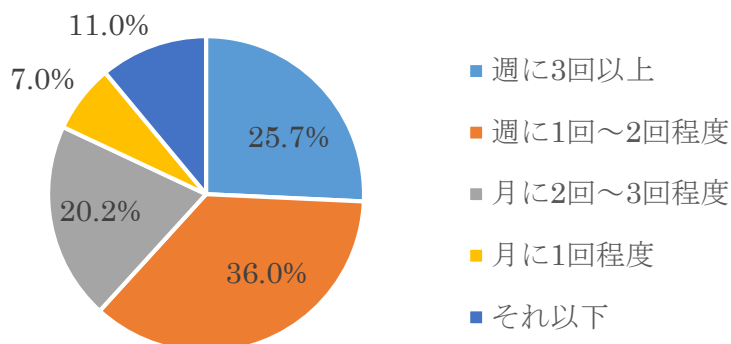
Q5. あなたのパークール歴をお選びください。(n=272)



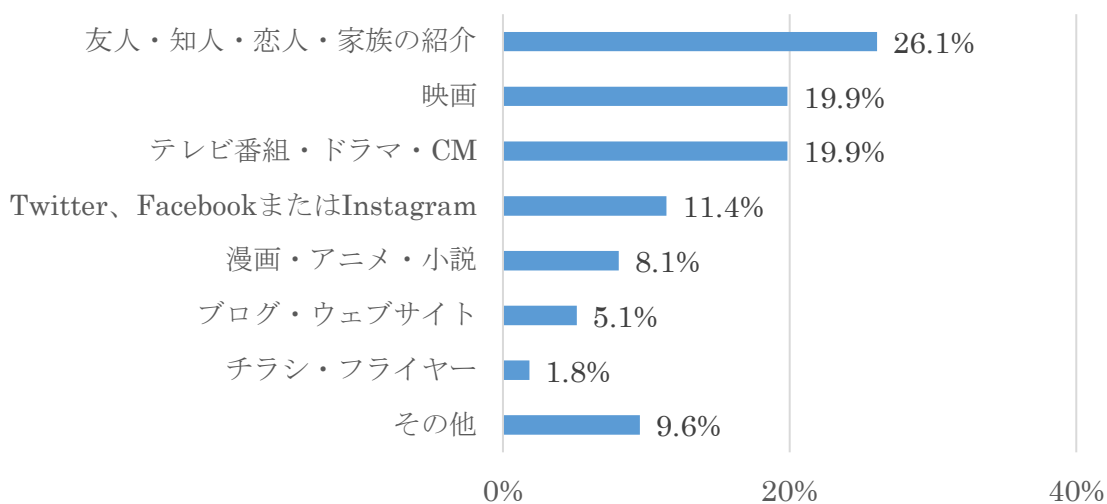
Q6. あなたのパークールに関する社会的な立ち位置をお選びください。(複数回答可) (n=272)



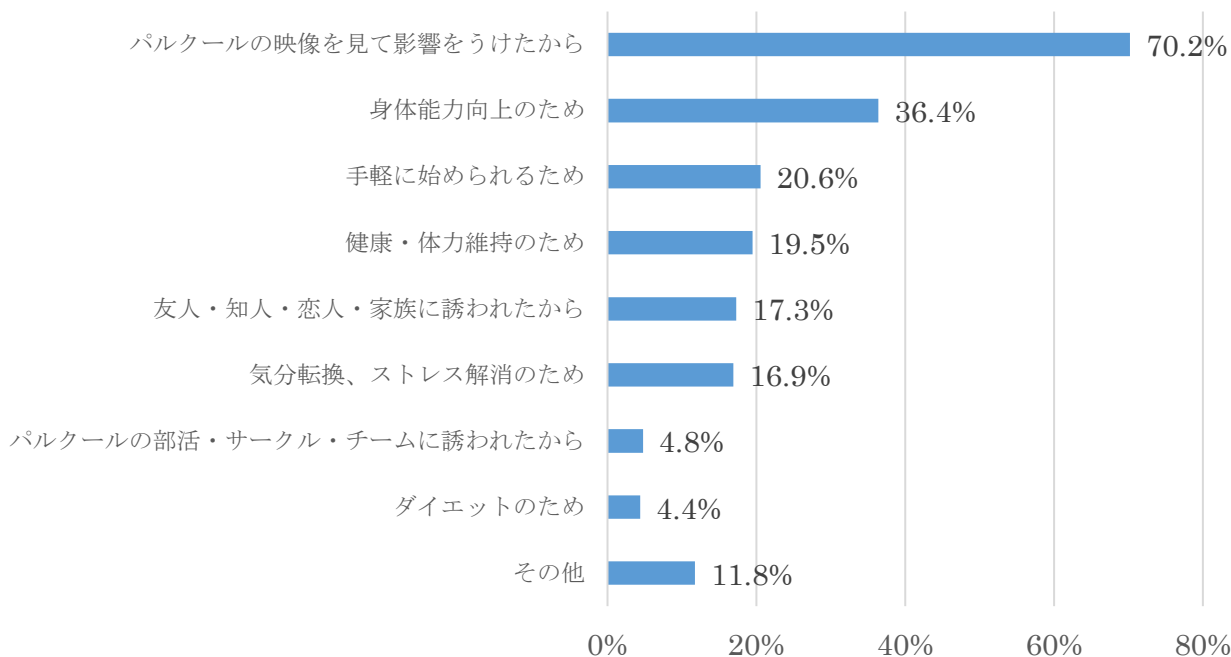
Q7. あなたはどれくらいの頻度で、パークールをしていますか？(n=272)



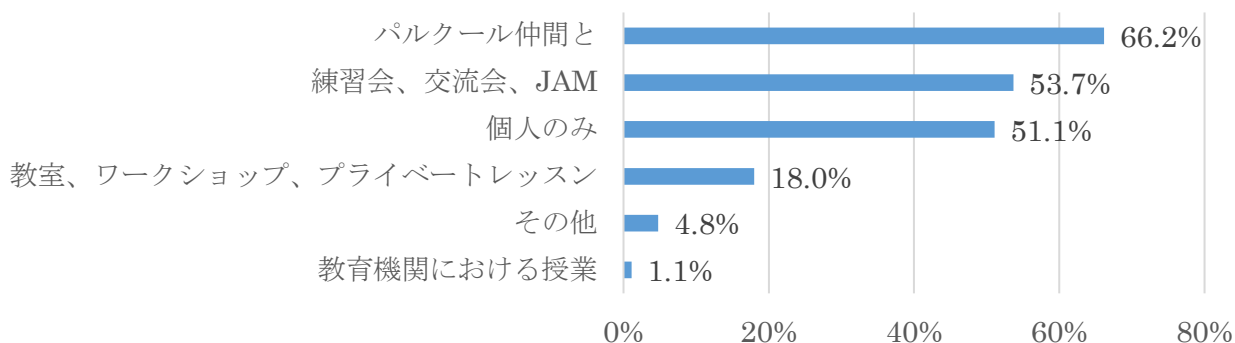
Q8. あなたは、どのようなきっかけでパークールを知りましたか？（複数選択可）(n=272)



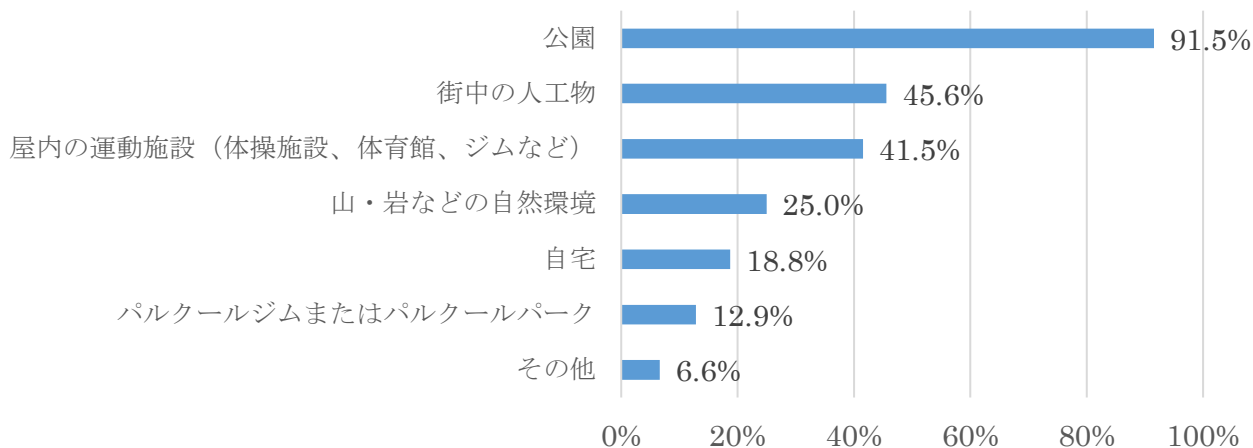
Q9. あなたは、なぜパークールを始めましたか？（複数選択可）(n=272)



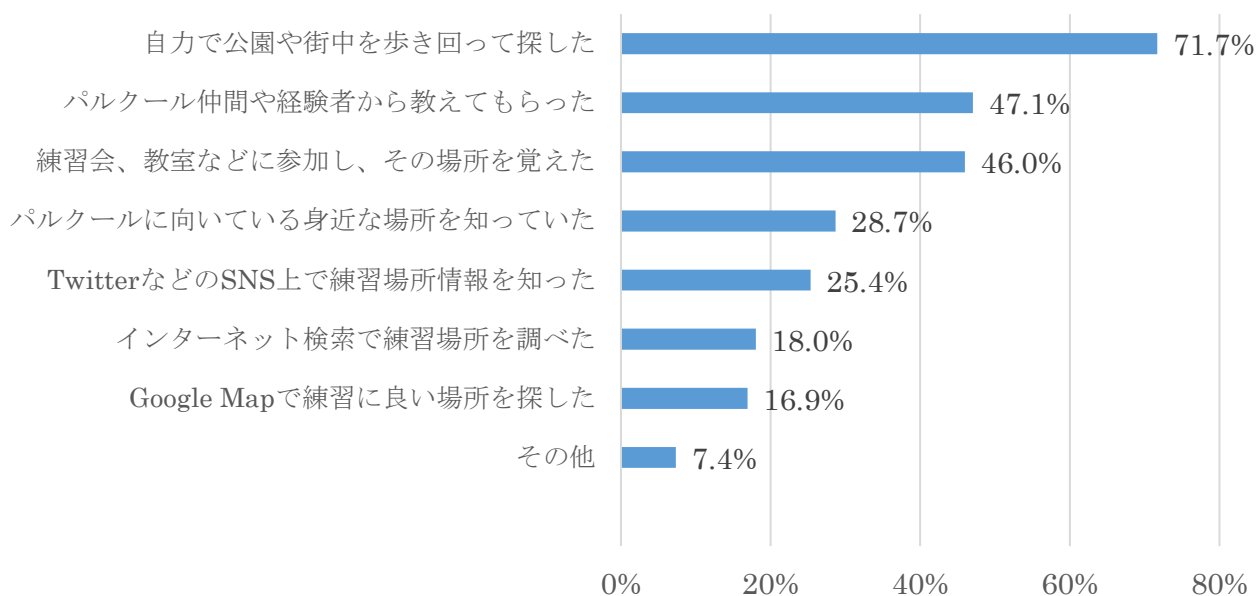
Q10. あなたは、どのような状況でパークールをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。  
(n=272)



Q11. あなたは普段、どのような場所でパークールをしていますか？（複数回答可）(n=272)

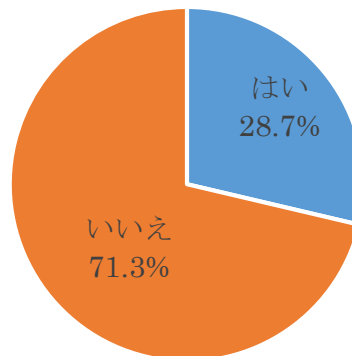


Q12. あなたは、どのようにパークールの練習場所を見つけましたか？（複数回答可）(n=272)





Q13. あなたは現在、何らかのパルクール関連団体、組織、企業等に所属していますか？(n=272)



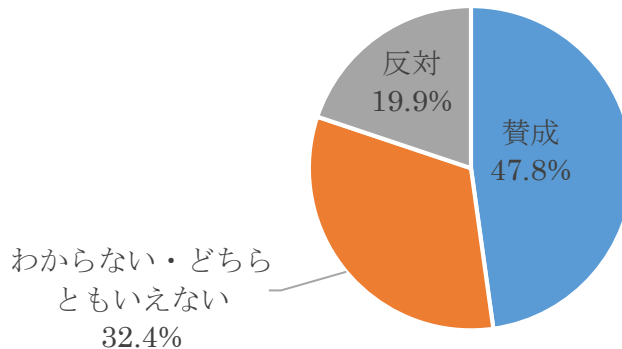
Q14. パルクール関連団体、組織、企業等の名称

アンケート結果としての公開を希望する団体を掲載した。なお、複数の回答において同様の団体名が記載されていた場合は、公開を希望しない回答が1つでもある団体はすべて非公開とし、公開を希望する団体から複数の異なる名称の回答が得られた場合、全ての名称を掲載した。

- calmovement
- CHALLENGER.S
- 藤枝パルクール
- Sapporo parkour krew・SPK
- 仙台パルクール
- サムライライブ・侍族
- 合同会社 SENDAI X TRAIN
- ふくしまパルクール・福島パルクール
- かごパル・鹿児島パルクール
- 早稲田パルクールサークル LULE・lule
- 東京パルクールアカデミー・トウキョウパルクールアカデミー・Tokyo parkour academy
- 静岡県立大学公認サークル「Silent Hill Parkour」
- parkour 広島・パルクール広島・parkourHiroshima
- 福岡パルクールチーム

### 3) パルクールに関する世論調査

Q15. あなたは、パークールの競技化に賛成ですか、反対ですか。(n=272)



Q16. なぜそのように思いますか（一部抜粋）

「賛成」を選択した回答者

- 認知度向上・環境整備・社会的理解に関する意見
  - 日本においてはパークールは敬遠されやすい。知名度が低い上に目立つ、危ない(危なく見える)という理由でパークールが敬遠される。目立つ上に危なく見えるのは他のスポーツも同等かそれ以上だ。しかし現実にはパークールがそのような危険なスポーツの筆頭のように語られている。それは何故か、歴史と知名度が理由ではないかと私は考える。そのため知名度が上がり練習場所が整備され多くの子供・若者を育てたりすれば、敬遠されることは少なくなると思う。他のマイナースポーツも嗜んだ身としては、数あるマイナースポーツの一つとして細々と続いていくよりは、有名になって大々的に楽しめる方が個人的には嬉しい。テレビで中継されたりスポーツバーで観戦しながら飲めたらそれは楽しいことだろうと思う。競技化に寄る権力争いや理念云々は、商業スポーツとして行われているスポーツの殆どに起こっている事。しかし、理念を抱えたまま衰退しては元も子もない、とも私は思う。
  - 認知度を増やすため。また、適度なルールがあるとより楽しめると思う。
  - 逆に競技化に反対してる人はAoMやAirwippなどの前からある大きな大会をどう捉えているのか疑問に残る。SNSを見ている限りそういった名の知れた大会は見て盛り上がっているのに今回は反対しているという矛盾が生じている気がした。ネットの情報に踊らされてるだけではなく、パークールが誰でもできるような環境にするための未来について考えると競技化は間違いなく効果があると思うし必要だと思う。ただ競技化するにあたって、しっかりパークールを知ってる方が運営等にあたって頂き、先人が気づきあげた文化を壊さないように盛り上がるのが重要だと思う。
  - 競技として成立させれば社会的理解もされやすくなると思うから
  - 競技は本質的なパークールとは違うかもしれないが、大会などの為に練習した事は実際のパークールにも活かせると思うし、目標にもしやすくモチベーションが上がりそう。また確実に認

知されやすくなり、その結果、人口増加・施設建設などパークール環境向上にも繋がると思う。実際オリンピックなどで選手が活躍すればその競技は前よりも盛んになっているイメージ。

- 己の力量に合わせて、自身の成長のために行うことが最大の目的であると考え。したがって当然趣味程度のアマチュアから競技者レベルのプロまで、様々なトレーナーがいて然るべきであるし、パークールには人を魅了する力があるので、もっと広まるべきであるから。
- 競技化されることで認知度が高まり、一般の方にも受け入れやすくなると考えられるから。また、マナーアップやルールの向上が望めると考える。
- パークールが多様な形で広まることはその文化の発展に繋がる。また懸念している事柄も大切なことだが、それは競技化に限った話ではないので反対することで解決させるものではない。
- パークールの競技化は、認知度の向上にも繋がるだろうし、より社会的に受け入れられやすいと思う。
- パークールは身体の上向を図るとともに、技の美しさなど周りに様々な影響を与えられ、日本にもパークールというのがスポーツとしてされるのが嬉しいからです
- 知名度の低さは深刻な問題だと思う。パークールの活動を行うにあたって可能な場所および施設の少なさは新規に参入したいと思う人への妨げとなっていることは確かであり、問題は早急に解決しなければならないと考える。
- 知名度や競技人口が増えることでスポット、練習場所などが増えることを期待して。
- 知名度や人口を増やすための手段として有益だから（多数の既存のスポーツがその有効性を歴史的に証明している）
- 社会的な認知度が余りにも低く 競技化により目標が生まれれば参加人口が増えると思われるため
- 社会への明解な立ち位置を示す一助になるため。
- 承認された存在にならなくてはいつまでも地下の存在としていざるを得ない。本来の目的である必要とされるため強くあれといったことも実現が難しくなる。競技にする際競う基準については議論が必要だが競技化もパークールの維持のためには致し方ないと思う。個人的には現在の競技基準が曖昧な方がよりパフォーマンス性より能力を競う形となってよいと思っている。
- エンターテインメント性に関する意見
  - 競技性は十分に高く、またパフォーマンスとしてもわかりやすく映えるから。
  - おもしろそうだから
  - かっこいいから
  - 見ていて感動するから
  - 見てて楽しくもなれるから
  - 楽しそうだから
- 目標・活躍の場に関する意見
  - 認知度が高まるとともに、目指すべきものができるから。

- パルクールを始めた若い世代の目標となる物が、明確にあるとより普及しやすいと考えるため。
  - やまかしまでさかのぼってしまうとその必要はないのかもしれないけど、私はパークールに人生をかけている人達に出会いそういう人たちが少しでもそれで衣食住を補えるような水準まであがればその人たちが報われ大変素晴らしいのになと思うからです。だからもっとスポーツ化そしてメジャーになることを心から願います。
  - 自分が目指したいから
  - 純粋に競技に出てみたいから
  - 自分の技術が他のトレーサー達とどれほど差があるのか知りたいので
  - 他のトレーサーと動くことにより勉強になる。興味を持つ人も増える。
- パルクールの新しい可能性・発展に関する意見
    - パルクールは当人があらゆる目的、方法で実践することができる自由なものだと考えているため。またパークールはこれまで様々な分野のものを取り入れることで発展しており、競技化もその一要素になり得ると考えているため。
    - ランニングと XMA がコラボは今までないので新たなスポーツとして誕生してもよいかとはっきり言って反対するのはおかしい。怪我するって恐れてたら何もスポーツできません。
    - ルールやその他諸々が明細化されればされるほど、新しい人に教えやすくなるし競技としてもちゃんと成り立つようになると思う。メディアの方々も説明しやすくなるし、視聴者やファンの方々の理解も深まる。
    - 競技自体は反対ではありませんが、その形式や採点はパークールの精神を受け継いでほしい。芸術や学問も本来競うためのものではありませんが、それぞれの形での競い合いがあります。競うという学習方法も人によってありと思います。
    - 元々競うものでは無いと思っているし、メリットデメリットは出てくるが、競技化することにより、可能性は広がるので有りかなと。専門的知識の無い関係者が関わったって真のパルクールではなくなったとしても、それぞれが自分の中でパークールに対する美学を持って取り組めばいい。失敗を重ねて歴史を積み重ね、いずれパークールが正しく普及すれば嬉しい。

## 「反対」を選択した回答者

- 外部団体に関する意見
  - パルクールとあまり関係のない団体が競技化を総括するため
  - パルクールと関係の薄い団体の統括により、パークールという精神の崩壊や、発展の阻害因子となりえることを危惧しています。し、そもそも関係の薄い団体がいきなり名乗り上げてパークールをまとめると言われても納得できない。

- パルクールの自由さに関する意見
  - パルクールとは本来移動術のことを指すのであって、アクロバットが追加されたフリーランニングのように魅せるものではないから。さらに、競技化するにあたってルールが必要となってくるはずだが、自由さというものがパークールの最大の魅力であると考えているため、自由を制限するかもしれないルールは決めてほしくないから。
  - その人に合った動きが出来るのが魅力的なスポーツだから。競技化された場合、技ばかりに固着して、自由さが無くなりそう。また、いずれ競技化賛成派と対立する可能性もある。まだちゃんとしたルールも無いので、競技化は早い。協会や沢山のトレーサー達の意見を取り入れながら、順を追ってひとつひとつ丁寧に競技化を進めていくのであれば賛成。
  - 競技ではなく、個人の思想や自由な練習方法などが尊重されるべきスポーツであり、考え方があってほしいと思うから。
  - 競技化されれば社会からの認識と理解を得られる(特に日本においては重要)が、明確なルールを定められれば自由がなくなり、個人の力量を無限に広げられるものであるパークールの意味がなくなる。それならば、競技化などせず、トレーサー個人及び団体が大まかな規範を作り、それに則って伸展させるほうが良いと思うからである。
  - パルクールは自由に体を動かすのがカッコイイと思う。競技にして規定を設けると個性がなくなり楽しくなくなり、結果競技者がカッコよくなる。
  - パルクールはスポーツの中で1番縛られてないスポーツであり技の誕生は無限大のために点数などつけても意味ないから。
  - ルールができてしまう。ルールがなく人によってスタイルが違っておもしろいから
  - 細かいルールがない自由さが好きだから
  - 優劣基準の確立による自由度の喪失
  - あくまでも自由なスポーツ。効率性とかよりもかっこよくやっていたい。
  - 自由という概念がなくなるから
  - 個人の価値観によって成り立ってると思うから競技よりも自由な方が良い
  
- パルクールの本質・概念に関する意見
  - AoMなどの定期的な大会はすでにある上、「知名度向上」や「実践者の増加」はコミュニティベースでおこなうべきで、オリンピックのような大規模な競技化に伴う資本の流入は確かに利点もあるだろうが、それ以上にパークールやコミュニティのもつ美德を侵害するだろうこと、またジムなど(利用料を払えば)誰でも安全に練習することのできる環境整備があれば望ましいが、野外の障害物を使いながらも怪我の可能性を避けたり、乗り越えたりすることもパークールであるし、本来的に必要ではないだろうこと。
  - Following original spirit of Parkour (that's the way it's teach in France)
  - 権力関係云々の話もちろんあるが、それより先にパークールが競技となること自体に反対したい。パークールは競技化することが難しいにも関わらず、無理に競技化すると現在行われているものから少なからずずれてしまう。そのずれたものがパークールとして一般に広まってしまふことが心配。

- パルクールの本質的な部分とズレているように感じるので
- パルクールはあくまでトレーニングの一種だと考えているので競い合うこととても大切ですがそれではまた違った意味や目的に変わってしまうと思うから。フリーランニングなどであれば目的などにそっていると思うからぜひどんどん開催すればと思います。
- 元々競い合うものではないと思うから
- 現在広まっているパークールは心身の基礎的な鍛錬である場合よりも、見栄えを意識したパフォーマンス性が高いものである場合が多いから。現状のまま競技パークールが広まり有名になれば、本来のパルクールがおろそかになるから。
- パルクールはトレーニングだから。
- パルクールは移動術なので競技においてのスポーツではないと思うから
- パルクールは技を競い合うものではない、とは考えませんが、あまり規制したり目に見えて数値化してしまうと、個々人の最高のパフォーマンスのための自己鍛錬という本来の目的が薄れてしまうような気がします。
- パルクールは競うものではなく、自分自身を強くするためのトレーニングだと思っているから。
- パルクールは競うようなものではないから。
- パルクールは本来他者と競争するものではないと考えているから。
- 競うものではないから。
- 順位をつけるものではない
- 心身を鍛えることが目的の故競う意味が無い
- 他人と競い合うスポーツではないと考えるから
- 他人と高め合うが競い合うものではない
- 競技のパルクールが本当のパルクールだと認知されることが怖い。マナーなど分からない人が増え、練習場所が減ってしまう可能性があるのが怖い。
- その他の意見
  - スタイルによって審査基準が曖昧なため採点形式は難しい。わかりやすくないと競技は世間一般にはウケないと思う。
  - ストリートでのパークールがやりにくくなる可能性があるため
  - パフォーマンスを得点化することで危険度が上がっていくことを懸念する。
  - 競い合うことで無理して怪我人が出る。自律する事が重要であり他人と比較する事は危険。
  - 型にはめると自主性が奪われるが、広めるには必要かな
  - 権力の高い？所からなら多分文化の維持だけは出来ると思うが、規制によって容易性や活動場所が失われる可能性と、おそらく今の段階では大きな団体や大衆によって弄ばれる（イメージによる差別）と思うから（弱い人がパークールをできない）。
  - また個人的な話だが、体操が嫌になったので辞めて数値化されにくいパークールに落ち着いているのにそれがまた体操に近づいてしまうことが気に入らない。
  - 公平に競うための土台が確立していない

- 今の世間からの認知度は中途半端なためそのまま競技化され、さらに一般に広まるとスケボー等のように危険、迷惑行為とみなされかねないため。

「わからない・どちらともいえない」を選択した回答者

- 外部団体に関する意見
  - パルクールの競技化自体は、知名度を上げたり、社会的な理解度を深めることに役に立つと思うから賛成であるが、FIGなどのパークールと全く関係のない団体によって統制されてしまうのは、今まで世界中で築き上げてきたパークールの自由な雰囲気を変えてしまうのではないかと思うので、世界各地にある有名なパークールチームや大きなジムのリーダー達が協力して統括すれば良いのではないかと思った。
  - 競技化そのものには肯定的ですが、パークールと関係の薄い団体が権利を主張することには非常に警戒しています。
  - 体操競技の一つとして競技化されるのは、まったくカルチャーが体操と違うので反対。パークールの一つの側面を切り取って競い合うのは良いと思う。
  - 競技化に対して、否定的な考えはありません。競技化されることで、ストリートからパークールが消えることは無いと思いますし、街中、スポットというもの、またルールや点数に囚われないことがパークールの根幹にはあると思っているからです。競技化に賛成したい理由は、ローラースポーツのように、ルール化され、大会やイベントが開催されることで、多くの人目に留まり、パークールへ興味や理解を持つ人、実際に始めてみようと思う人が増えることは勿論、練習会や教室の開催が容易になると思うのが一つです。また、将来的にプロのトレーナーとなる人たちを見てみたいという、個人的な理由もあります。その反面で、競技化のためには、ルールや管理団体の整備、大会の運営などと言ったことを誰が行うのかと言う問題が付きまとうと思います。そういった意味で、以前話題になっていたように、他の競技の中にパークールが取り込まれてしまうことだけは望みません。その為、賛成とは言い切れないので、どちらともいえないという回答をさせていただきます。
  - 現状のコミュニティを制限、排除する意思がないのであれば別物として存在する事は特に問題には思っていない
  - contests are fun, especially if not only for elite (everyone can run, whatever his level). Doesn't necessarily need to be called parkour competition. I cleared kuroOvi 2017, plan to try to enter next SASUKE contest. these are not 100% parkour but use parkour a lot and are really fun. But should not have one company that take full right over parkour events,...
- パルクールの自由さに関する意見
  - あればもちろん見たり出たいと思ったりするだろうが、パークールは自由なもの、ルールや評価するというのは、あくまで自分はしっくりこないの、なんとも言えない。

- 点数化されるスポーツではないから。パークールという表現を楽しみたいから、パークールという自由なスポーツ競技化されるべきではない
  - 普及が一番最適な手段がルールが統一された競技化であることが挙げられるが、それは採点化可能なパークールをつくるためにパークールの一部を切り取ったに過ぎないと個人的には感じる。ただ既に業界内に一部実力主義な部分も出ているので正直なところハッキリとした提示が自分からはできない。自分にとっては、自由ながらに多様性の認められるパークールであってほしいと感じるし、それが自分がパークールが好きな理由である。
  - パークールは完全フリースタイルなスポーツなのでほんとうに競技化できるのか
  - パークールは自由であるべきでそれがいいところでもあり、悪いところでもあるから。どちらとも言えない
  - トレーサー各々の技術面の研鑽・向上をはかる為の目的ならば競技化もありかとは思いますが、自己鍛錬として縛りのない自由さがパークールのよさでもあると思うので格闘技が実践からスポーツとして、エクササイズとしてなど様々なとらえかたで存在しているように、ルーツや移動に重点を置いているのであれば、競技としてのパークールは存在してもいいと思う。
  - 競技化したら、パークールの自由な発想がなくなっていく気がする。競技化することで社会的な理解が得やすくなり、活動しやすくなると思う。何をもって評価基準とするのかがわからない。移動術という意味なら速さ、アートという意味なら美しさや技の難易度？難易度を評価基準に入れれば、室外の保護のない空間でやることも多くなるので怪我人も増えるのではないか？
  - パークールの本質・概念に関する意見
    - 競技化することによって屋内練習場や指導者が増えたりすればメリットがあると思う。競技化するにあたって、現在いろんな国で行われているような大会であれば良いと思うが、技に難易度や基礎点などが付けられるような競技になるとパークールの本質とは違ってきてしまうような気がする。
    - 賛成ではあるが、もし競技化するならパークールという名前は使うべきではないのではないかとパークールの実質は移動走法という手段であり、スポーツとは言にくいから。世間にパークールの認識を正しく伝えるために、名前の差別化は必要かとまた逆にパークールを知ってもらう上であえてパークールという名前でスポーツ化するのも一つの手だと思う。つまるところどっちがいいか答えがだせない。
    - 人によって違うスタイルで行う移動術として見た時に、どこを評価するのか分からない。また、評価基準を設けたとして、それに沿ったスタイルばかりになってしまいつまらなくなりそう。移動術の概念を壊したくない。しかし、交流等の場としてはとても効果的であり、実力のある人の動きが見れるのは他の参加者への良い刺激になると思う。
    - どちらにせよ、メリットとデメリットがある。
- 競技化賛成  
→メリット 認知度が高くなり実践者人口も増加し、パークールの施設等があらゆる所にできる可能性がある。



→デメリット 競技化することにより、本来あった考え方や伝統が失われていく危険性がある。

競技化反対

→メリット 本来のパルクールが守られる

→デメリット 施設等が少ない為、街中でやると周囲に迷惑がかかる恐れもある。

- パルクールの精神を正しく伝えられないような競技化であればしてほしくない。条件付き賛成といったところか。
- パルクールの歴史や精神が失われる事には反対ですが、それは競技化や商業化としての問題とは別だと捉えています。そもそもなぜこの議論に活発になっているのか不思議に思っています。この話が盛り上がった経緯をもう少し詳しく調べ、具体的にしていく必要があると考えています。
- 悪くないかもしれないです。しかし、競技化する為には Tempest のような団体の管理、ルールなどをみんなで作りたいたのが本音です。あくまで「カルチャーの集まり」での大会であれば嬉しいです。大会のために普段練習を積んでいる訳ではないので。パルクールの本質からなるべく外れないように自分も発信して、良い方向に事が進んでいく事を願っています。
- 競技だとパルクールの本当の意味がなくなる、競技があると普及すると思われる。
- 競技として成立するために参加者全員が共有できる規定や基準があれば良い。しかしその前提としてパルクールの定義に関する理解の普及・発展がなければ、容易に外部からの干渉を招く。
- 競技化の内容と説明によっては賛成です。パルクールそのものは競技化できないものと考えていますが、一部を特化すれば可能であると思います。あくまでもパルクールの一部であるという説明が必要であると思っています。
- パルクールの正式なランキングは知りたいが、パルクールは個々の個性が輝く競技だと思うから審査されるのは良くないと思う。
- 競うものでもない気がします。
- 速さだけ競うならただの障害物走だから
- 競技としてのルール、基準に関する意見
  - 点数基準がわからない上に一人一人スタイルがあって求めているものも違うと思われるので順位をつけず頼のではないかと思います。しかし、見る分には面白いしそういったことがあればそのためにがんばることも出来ると思います。自分のかたちが広まることも考えれば良い面もあるような気はします。
  - 競技にしたら面白いと思うが、何を基準に評価つけるかも分からないし難しいのでなんとも言えない。
- その他の意見
  - 競技化することで、認知されてくるのはいいことであるけど、一方で危険性を全面に押し出して、一切禁止。という扱いになってくると、現在活動されている方たちへの妨げにもなりそう

で怖い。競技をする上で、どのような場所で行うのか、一定の安全基準が満たされるのなら大いに賛成です

- あくまでもトレーニングだと思っていますが、どのような捉え方をしてもいいと思っています
- チェイスタグやOCSは競技として楽しめるが、パークールそのものではない。パークールから派生させた競技だと思う。
- トレーニングとしてのパークールがあり、競技としてのチェイスタグやOCSがある。これは、ウェイトトレーニングと陸上競技や球技の関係と同じだ。パークールを競技化するのは無理だけど、パークールスキルを活かせる競技を止めることは難しいだろう。
- パークールと定義するのは別として協議化することによってモチベーションを上げられる可能性もあると思う
- 今私のやりたいパークールは他人と競う物ではないが、そのようにしたい人はすばばいいし、もしかしたらこの先自分のやりたい事も変わったり増えたりするかもしれないので。

Q17. あなたは、もしパークールの関連競技（スピードラン形式）の大会が日本で開催された場合、参加したいと思いますか？(n=272)

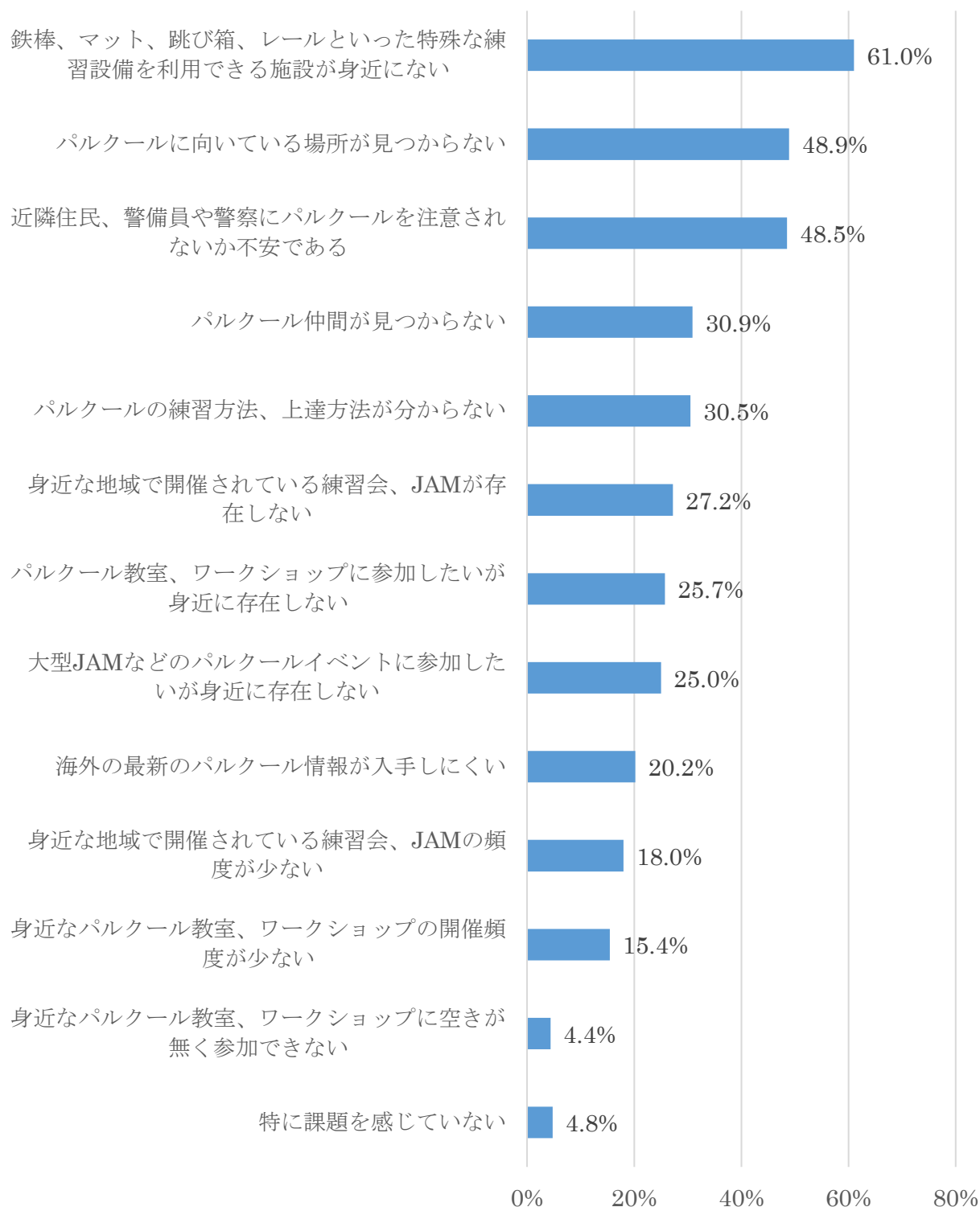


Q18. あなたは、もしパークールの関連競技（フリースタイル形式）の大会が日本で開催された場合、参加したいと思いますか？(n=272)



4) パルクールをする上での回答者の課題

Q19. パルクールをする上で、あなたが課題に感じていることをお選びください。(複数回答可) (n=272)



---

---

## 日本全国パークール調査 2017 報告書

発行年月：2018 年 3 月

発行・編集：一般社団法人日本パークール協会

連絡先：[info@parkour.jp](mailto:info@parkour.jp)

※禁無断転載・複製

---

---